

別紙 2

平成22年度事務事業評価結果(課・室)総括表

会計区分	一般会計
課・室名	都市整備課 (単位:千円)

[illegible]

平成 22 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

				会計区分	☒ 一般会計 ☐ 特別会計 () ☐ 企業会計 ()														
事業名		下水道事業促進費（日本下水道事業団負担金および日本下水道協会、中部地方支部および福井県支部負担金）	含まれる事業数	4	所 属		土 木		部（庁）		都市整備		課（室）		下水道整備		G		
福井新元気宣言における		☐ 有 → ビジョン [] ☒ 無 政 策 []			事業区分		☐ 国 庫 ☒ 県 単 ☐ その他	☐ 実行予算 ☐ 補助金 ☒ その他	事業開年	事業始年度	S39 年度 経過年数 47 年	事業終了 予定年度	- 年度	事務区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
[事業目的] 下水道の根幹的施設の建設および維持管理の受託、技術援助、技術者の養成等を行っている日本下水道事業団への負担金の支出により、下水道整備の促進を図る。また、（社）日本下水道協会、同中部地方支部および同福井県支部の会員となることにより、下水道の普及を図り、もって県民の生活向上に寄与する。																			
[事業内容] 下水道推進団体に對し、負担金を支出して事業の推進を図る。 ・日本下水道事業団 下水施設の建設および維持管理の受託、技術援助、技術者の養成、技術開発・実用化のための調査、試験、研究等を行う。 ・（社）日本下水道協会、同中部地方支部および同福井県支部 経営に関する講習会、説明会、予算要望活動等を行う。																			
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)																			
区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等										結果分類	
当初予算額の推移		6,837	6,569	6,652	6,473	6,402	△1.6%												
2月現計予算額の推移		6,540	6,421	6,387	6,368	5,376	△4.5%												
決算額の推移		6,540	6,421	6,387	6,303	5,376	△4.6%												
事業効果 の推移	活動指標	下水道事業団研修人数（人）	18	17	29	19	18	6.3%	技術者養成研修参加者数										I
	成果指標	下水道処理人口普及率（％）	65.0	67.0	68.2	70.5		2.8%	処理人口／行政人口										II
計画の達成状況		[目標名] 年度整備水準[] / 整備目標 年度[] = []																	
区 分		平成22年度予算額		事業開始後の見直し状況						特 記 事 項									
予算額（単位：千円）		5,376								全体5,376千円のうち、下水道事業団負担金額4,791千円については、法律で定められている。									
財源内訳	国 庫																		
	その他特定財源																		
	一 般 財 源		5,376																
[事業の評価]																			
所属の方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 快適な生活環境の実現に向け、整備促進に寄与している。						評価に基づく今後の対応	☐ 拡 充	☐ 縮 減	☐ 終期の見直し									
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 本県の平成21年度末下水道処理人口普及率は、70.5％と全国平均73.7％を下回っており、快適な生活環境の実現に向け、引き続き一層の整備促進を図っていく。							☒ 継 続	☐ 休 止	☐ 完 了									
								☐ 整理統合	☐ 廃 止	☐ そ の 他									
								見直し額											千 円

平成 22 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

				会計区分	☒ 一般会計 ☐ 特別会計 () ☐ 企業会計 ()				
				所 属	土 木 部 (庁) 都市整備 課 (室) 下水道整備 G				
事 業 名	福井県下水道事業特別会計繰出金	含まれる事業数	2	事 業 区 分	☐ 国 庫 ☒ 県 単 ☐ その他	☐ 実行予算 ☐ 補助金 ☒ その他	事 業 開 始 年 度 S49 年度 経過年数 37 年	事業終了 予定年度 - 年度	事務区分 ☒ 自 治 事 務 ☐ 法定受託事務
福井新元気宣言における 位置付け	☐ 有 →ビジョン [] ☒ 無 政 策 []								
[事業目的]									
九頭竜川流域下水道等の整備促進により、公共用水域の水質保全と県民の生活環境改善を図る。									
[事業内容]									
九頭竜川流域下水道および五領川公共下水道の整備等促進のため、下水道事業特別会計に特定財源以外の財源補填として、一般会計から繰出金を支出する。									
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)									
区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	
当 初 予 算 額 の 推 移		551,755	554,646	517,820	507,671	475,168	△3.6%	結果分類	
2 月 現 計 予 算 額 の 推 移		546,124	532,624	523,390	502,702	473,522	△3.5%		
決 算 額 の 推 移		546,079	528,817	523,243	502,680	473,522	△3.5%		
事業効果 の推移	活動 指標	幹線管渠整備延長 (km)	74.2	74.2	74.2	74.2	0.0%	幹線管渠布設延長(流域下水道区域内)	
	成果 指標	下水道普及率 (%)	81.8	83.8	84.8	86.8	2.0%	処理人口／行政人口(流域下水道区域内)	
計 画 の 達 成 状 況		[目標名] 年度整備水準[] / 整備目標 年度 [] = []							
区 分		平成22年度予算額	事業開始後の見直し状況				特 記 事 項		
予 算 額 (単位：千円)		473,522							
財源内訳	国 庫								
	その他特定財源	329							
一 般 財 源		473,193							
[事業の評価]									
所 属 方 針	[活動指標、成果指標に対する評価] 流域の下水道事業普及率の向上が図られている。					評価に基 づく今後 の 対 応	☐ 拡 充	☐ 縮 減	☐ 終期の見直し
							☒ 継 続	☐ 休 止	☐ 完 了
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 快適な生活環境の実現に向け、一層の整備促進を図っていく。						☐ 整理統合	☐ 廃 止	☐ そ の 他
							見 直 し 額	千 円	

平成 22 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

				会計区分	☒ 一般会計 ☐ 特別会計 () ☐ 企業会計 ()				
				所 属	土 木 部 (庁) 都市整備 課(室) 下水道整備 G				
事 業 名	福井県污水处理施設整備構想策定事業	含まれる事業数	1	事 業 区 分	☐ 国 庫 ☒ 県 単 ☐ その他	☒ 実行予算 ☐ 補 助 金 ☐ そ の 他	事 業 開 始 年 度 H21 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 H22 年度	事務区分 ☒ 自 治 事 務 ☐ 法定受託事務
福井新元気宣言における 位 置 付 け	☐ 有 →ビジョン [] ☒ 無 政 策 []								
[事業目的]									
各市町が実情に見合う効率的な污水处理施設を整備することにより、污水处理人口普及率の向上を図る。									
[事業内容]									
平成 14 年度に策定した福井県污水处理施設整備構想について、近年の人口減少等の社会情勢の変化を踏まえ、学識経験者等からの意見を取り入れて、市町がより効率的な污水处理施設整備を行うための構想の改定を行う。									
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)									
区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	
当 初 予 算 額 の 推 移					360	213	△40.8%	結果分類	
2 月 現 計 予 算 額 の 推 移					287	201	△30.0%		
決 算 額 の 推 移					287	97	△66.2%		
事業効果 の推移	活動 指標								
	成果 指標	污水处理人口普及率 (%)	82.0	85.1	86.3	88.8	2.7%	各污水处理施設の利用可能人口／総人口	Ⅱ
計 画 の 達 成 状 況		[目標名] 年度整備水準[] / 整備目標 年度 [] = []							
区 分		平成22年度予算額		事業開始後の見直し状況				特 記 事 項	
予 算 額 (単位：千円)		201							
財源内訳	国 庫								
	その他特定財源								
	一 般 財 源	201							
[事業の評価]									
所 属 方 針	[活動指標、成果指標に対する評価] 污水处理人口普及率は着実に向上している。					評価に基 づく今後 の 対 応	☐ 拡 充 ☐ 縮 減 ☐ 終期の見直し		
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 福井県污水处理施設整備構想の改定を行った。今後は、その構想を基に市町がより効率的に污水处理施設を整備することにより、污水处理人口普及率の更なる向上を図っていく。						☐ 継 続 ☐ 休 止 ☒ 完 了		
							☐ 整理統合 ☐ 廃 止 ☐ そ の 他		
							見 直 し 額		

平成 22 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

										会計区分	☒ 一般会計 ☐ 特別会計 () ☐ 企業会計 ()		
				所 属	土 木		部 (庁)		都市整備	課(室)	街路・都市公園整備 G		
事 業 名	公園諸費 ((社) 日本公園緑地協会負担金)		含まれる事業数	1	事 業 区 分	☐ 国 庫	☐ 実 行 予 算	事 業 開 始 年 度	S42 年度 経過年数	事業終了 予定年度	一 年 度	事務区分	☒ 自 治 事 務 ☐ 法定受託事務
福井新元気宣言における	☐ 有 → ビジョン []			☒ 県 単		☐ 補 助 金	44 年		44 年				
位 置 付 け	☒ 無 政 策 []			☐ その他		☒ そ の 他							
[事業目的]													
(社) 日本公園緑地協会の会員となり、公園、緑地等に関する効率的な事業の推進を図る。													
[事業内容]													
都市公園事業推進団体に対し、負担金を支出して事業の促進を図る。 (社) 日本公園緑地協会 公園緑地等に関する基本的課題の調査研究、公園緑地事業等の推進 (全国大会の開催)、表彰等の実施、講習会の開催等を行う。													
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)													
区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等				結果分類	
当 初 予 算 額 の 推 移		120	120	110	110	110	△2.1%						
2 月 現 計 予 算 額 の 推 移		120	110	110	110	110	△2.1%						
決 算 額 の 推 移		120	110	110	110	110	△2.1%						
事業効果 の推移	活動	講習・研修会開催数 (回)	4	4	4	4	0.0%					Ⅱ	
	指標	講習・研修会参加人数 (人)	53	87	62	60	52	4.8%	県および市町職員等が参加				Ⅱ
	成果	遊具事故件数 (件)	1	1	0	0		△33.0%	県内遊具事故発生件数				I
	指標												
計 画 の 達 成 状 況		[目標名] 年度整備水準[] / 整備目標 年度 [] = []											
区 分		平成22年度予算額		事業開始後の見直し状況				特 記 事 項					
予 算 額 (単位：千円)		110		平成15年度に都市緑化技術開発機構負担金については廃止した。 平成18年度から専門家を招き県内で遊具の安全講習会を実施している。 平成19年度に負担金が減額された。				(社) 日本公園緑地協会 (S42年より参加) 全都道府県加入					
財源内訳	国 庫												
	その他特定財源												
	一 般 財 源	110											
[事業の評価]													
所 属 方 針	[活動指標、成果指標に対する評価]					評価に基 づく今後 の 対 応	☐ 拡 充	☐ 縮 減	☐ 終期の見直し				
	都市公園面積が拡大し、目標公園面積達成率が上昇するなど、公園事業の向上が図られている。						☒ 継 続	☐ 休 止	☐ 完 了				
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容]						☐ 整理統合	☐ 廃 止	☐ そ の 他				
	今後も全国レベルの情報の収集を行い、県民のニーズに合った公園事業を行っていく。						見 直 し 額	千 円					

平成 22 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

										会計区分	☒ 一般会計 ☐ 特別会計 () ☐ 企業会計 ()				
				所 属	土 木		部 (庁)		都市整備		課 (室)		街路・都市公園整備 G		
事 業 名	街路樹維持管理事業			含まれる事業数	1	事 業 区 分	☐ 国 庫	☒ 実行予算	事 業 開 始 年 度	S60 年度	事業終了 予定年度	一 年 度	事務区分	☒ 自 治 事 務	
福井新元気宣言における	☐ 有 →ビジョン []				☒ 県 単		☐ 補 助 金	経過年数		26 年				☐ 法 定 受 託 事 務	
位 置 付 け	☒ 無 政 策 []				☐ その他		☐ そ の 他								
[事業目的]															
街路樹の剪定、病害虫の防除を行うことなどにより、快適な道路空間を確保する。															
[事業内容]															
県管理道路の街路樹について、剪定や薬剤散布を行う。															
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)															
区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等						結果分類	
当 初 予 算 額 の 推 移		64,184	64,184	104,184	68,684	76,684	10.0%								
2 月 現 計 予 算 額 の 推 移		64,184	64,184	104,184	68,684	109,684	22.1%								
決 算 額 の 推 移		64,184	64,184	104,184	68,684		9.4%								
事業効果 の推移	活動 指標	街路樹の延長	193,965	195,791	197,236	198,066	0.7%	(m)							Ⅱ
	成果 指標														
計 画 の 達 成 状 況		[目標名] 年度整備水準[] / 整備目標 年度 [] = []													
区 分		平成22年度予算額		事業開始後の見直し状況				特 記 事 項							
予 算 額 (単位：千円)		109,684						平成20年度 植樹祭に向けた植樹マスの修繕 平成21年度 シンボルロード事業と統合 平成22年度 APECに向けた植栽、剪定 道守活動数が増加するなど、道路に対する県民の意識の向上が図られている。							
財源内訳	国 庫														
	その他特定財源														
	一 般 財 源	109,684													
[事業の評価]															
所 属 方 針	[活動指標、成果指標に対する評価]					評価に基 づく今後 の 対 応	☐ 拡 充	☐ 縮 減	☐ 終期の見直し						
	美しい景観をつくり、住民の道路に対する意識の向上を図るために必要である。						☒ 継 続	☐ 休 止	☐ 完 了						
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容]						☐ 整理統合	☐ 廃 止	☐ そ の 他						
	快適な道路空間を確保するため、引き続き維持管理を推進していく。						見 直 し 額	千 円							

平成22年度事務事業評価結果(課・室)総括表

会計区分 下水道事業特別会計

課・室名 都市整備課 (単位:千円)

[illegible]

平成 22 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

										会計区分	☐ 一般会計 ☒ 特別会計 (下水道事業) ☐ 企業会計 ()		
				所 属	土 木		部 (庁)		都市整備	課 (室)	下水道整備	G	
事 業 名	維持管理費	含まれる事業数	1	事 業 区 分	☐ 国 庫	☒ 実行予算	事 業 開 始 年 度	S57 年度 経過年数 29 年	事業終了 予定年度	一 年 度	事務区分	☒ 自 治 事 務	
福井新元気宣言における	☐ 有 → ビジョン [				☒ 県 単	☐ 補 助 金						☐ そ の 他	☐ 法定受託事務
位 置 付 け	☒ 無 政 策 [				☐ そ の 他	☐ そ の 他							
[事業目的]													
九頭竜川流域下水道事業の適正かつ効率的な管理運営を図る。													
[事業内容]													
九頭竜川流域下水道事業の適正かつ効率的な管理運営を図るため、(財)福井県下水道公社に運転管理を委託する。													
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)													
区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等				結果分類	
当 初 予 算 額 の 推 移		1,054,950	1,019,389	999,944	888,549	863,551	△4.8%						
2 月 現 計 予 算 額 の 推 移		1,510,642	1,491,412	1,520,093	1,598,023	1,574,944	1.1%						
決 算 額 の 推 移		970,407	943,873	897,165	795,524		△6.3%						
事業効果 の推移	活動 指標	流入水量 (千㎡)	15,032	15,127	15,065	15,812	1.7%	年間流入水量 (千㎡)				Ⅱ	
	成果 指標	下水道普及率 (%)	81.8	83.8	84.8	86.8	2.0%	処理人口/行政人口 (流域下水道区域内)				Ⅱ	
計 画 の 達 成 状 況		[目標名] 年度整備水準[] / 整備目標 年度 [] = []											
区 分		平成22年度予算額	事業開始後の見直し状況				特 記 事 項						
予 算 額 (単位：千円)		1,574,944	維持管理費については、3市からの実流入量に基づいた維持管理負担金によって運営している。 維持管理負担金については、3年に1回、見直し(直近は平成22年度)を行っている。										
財源内訳	国 庫												
	その他特定財源	1,574,944											
一 般 財 源													
[事業の評価]													
所 属 方 針	[活動指標、成果指標に対する評価]					評価に基 づく今後 の 対 応	☐ 拡 充	☐ 縮 減	☐ 終期の見直し				
	九頭竜川流域下水道の整備により、福井市、あわら市、坂井市の普及率が年々増加している。						☒ 継 続	☐ 休 止	☐ 完 了				
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容]						☐ 整理統合	☐ 廃 止	☐ そ の 他				
	流域の下水道普及率は年々増加していることから、引き続きコスト縮減に努めながら適正に維持管理していく。						見 直 し 額	千 円					

平成 22 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

				会計区分	☐ 一般会計 ☒ 特別会計 (下水道事業) ☐ 企業会計 ()					
				所 属	土 木 部 (庁) 都市整備 課 (室) 下水道整備 G					
事 業 名	九頭竜川流域下水道事業 (県単工事)	含まれる事業数	1	事 業 区 分	☐ 国 庫 ☒ 県 単 ☐ その他	☒ 実行予算 ☐ 補 助 金 ☐ そ の 他	事 業 開 始 年 度 S52 年度 経過年数 34 年	事業終了 予定年度 一 年度	事務区分 事 務 区 分	☒ 自 治 事 務 ☐ 法定受託事務
福井新元気宣言における 位置付け	☐ 有 → ビジョン [] ☒ 無 政 策 []									
[事業目的]										
九頭竜川流域管内において、下水道の根幹的な施設である幹線管渠、ポンプ場および終末処理場を一体的に建設することにより、公共用水域の水質汚濁防止および住民の生活環境の整備を図る。										
[事業内容]										
九頭竜川流域下水道の終末処理、ポンプ場等の台帳整備を行う。										
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)										
区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等		結果分類
当 初 予 算 額 の 推 移		1,318	700	1,450	1,300	1,400	14.4%			
2 月 現 計 予 算 額 の 推 移		1,318	700	1,450	1,300	1,400	14.4%			
決 算 額 の 推 移		1,318	700	1,450	1,300	1,400	14.4%			
事業効果 の推移	活動 指標	幹線管渠整備延長 (km)	74.2	74.2	74.2	74.2	0.0%	幹線管渠布設延長 (流域下水道区域内)		Ⅱ
	成果 指標	下水道普及率 (%)	81.8	83.8	84.8	86.8	2.0%	処理人口 / 行政人口 (流域下水道区域内)		Ⅱ
計 画 の 達 成 状 況		[目標名] 年度整備水準 [] / 整備目標 年度 [] = []								
区 分		平成22年度予算額	事業開始後の見直し状況				特 記 事 項			
予 算 額 (単位：千円)		1,400								
財源内訳	国 庫									
	その他特定財源	1,400								
	一 般 財 源									
[事業の評価]										
所 属 方 針	[活動指標、成果指標に対する評価] 流域の下水道の普及率も年々増加しており快適な生活環境の実現に寄与している。					評価に基 づく今後 の 対 応	☐ 拡 充	☐ 縮 減	☐ 終期の見直し	
							☒ 継 続	☐ 休 止	☐ 完 了	
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 快適な生活環境の実現に向け、一層の整備促進を図っていく。						☐ 整理統合	☐ 廃 止	☐ そ の 他	
							見 直 し 額	千 円		

平成 22 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

										会計区分	☐ 一般会計 ☒ 特別会計 (下水道事業) ☐ 企業会計 ()		
				所 属	土 木		部 (庁)		都市整備	課 (室)	下水道整備		G
事 業 名	五領川公共下水道管理補助金			含まれる事業数	1	☐ 国 庫 ☒ 県 単 ☐ その他	☐ 実行予算 ☒ 補 助 金 ☐ そ の 他	事 業 開 始 年 度 S53 年度 経過年数 33 年	事業終了 予定年度 H24 年度	事務区分 事務区分	☒ 自 治 事 務 ☐ 法定受託事務		
福井新元気宣言における 位置付け	☐ 有 → ビジョン [] ☒ 無 政 策 []												
[事業目的]													
旧福井医科大学設置に伴い、九頭竜川廃川敷とその周辺地区の生活環境の整備および公共用水域の水質保全を図ることを目的に、県において五領川公共下水道を整備した。この整備時に借り入れた起債を承継した事務組合に対して、償還分を補助する。													
[事業内容]													
維持管理については、坂井市、永平寺町で設立する五領川公共下水道事務組合が行う。(歳入…廃川敷分下水道使用料、周辺地域分離維持管理負担金、起債償還金に対する交付税措置 歳出…維持管理費、起債償還金)													
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)													
区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等				結果分類	
当初予算額の推移		23,417	23,417	23,147	21,213	13,667	△11.4%						
2月現計予算額の推移		23,417	23,417	23,147	21,213	13,667	△11.4%						
決算額の推移		23,417	23,417	23,147	21,213	13,667	△11.4%						
事業効果 の推移	活動 指標	処理人口 (人)	6,016	6,053	5,967	5,929	△0.5%					Ⅲ	
	成果 指標	下水道普及率 (%)	100.0	100.0	100.0	100	0.0%	処理人口／行政人口 (五領川公共下水道区域内)				Ⅱ	
計画の達成状況		[目標名] 年度整備水準 [] / 整備目標 年度 [] = []											
区 分		平成22年度予算額		事業開始後の見直し状況				特 記 事 項					
予 算 額 (単位：千円)		13,667											
財源内訳	国 庫												
	その他特定財源		13,667										
	一 般 財 源												
[事業の評価]													
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 九頭竜川廃川敷とその周辺地区の公共用水域の水質保全に寄与している。					評価に基 づく今後 の 対 応	☐ 拡 充 ☒ 継 続 ☐ 整 理 統 合 見 直 し 額	☐ 縮 減 ☐ 休 止 ☐ 廃 止	☐ 終期の見直し ☐ 完 了 ☐ そ の 他 千 円				
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 九頭竜川廃川敷とその周辺地区の公共用水域の水質保全を図るため、今後とも継続していく。												